



彼らのショーのひとつ「AQST - Before it be Late」は、毎日プライムタイムに Channel 2 - America TV で放映されています。AQST は、ユーモラスな視点から国内外の TV で起きていることをレビューする、多大な編集時間と大量のメディアアセットを必要とするトークショーです。アナログまたはデジタルのビデオテープが大量に蓄積されていたところ、コンテンツをテープレスワークフローで保存するための調査に乗り出しました。

毎日 20 時間のライブフィードを記録するために、2 式の Metus INGEST ワークステーション（計 8 チャンネル、それぞれに Viewcast Quad アナログと Blackmagic Design HD Extreme をインストール）が導入されました。また、その日の残りに、テープアーカイブのデジタイズも行います。5 人のオペレータはビデオの記録中にメタデータ情報を入力し、Metus MAM システムで検索に使えるようにショー全体のテキストでの記述も入力します。プロダクションハウスでは Metus MAM に含まれる Metus ビューワーを使って基本的なカット編集を行います。

Metus MAM の構成は、アーカイブサーバー（Avid Unity メディアネットワーク・サーバー）1 式と、Metus のトランスコードエンジンとしてプロキシ生成やトランスコード処理を目的とするプロセスサーバー（HP DL160）1 式、ライブラリサーバー（HP DL 380 - MAM Client がインストールされローカルディスクストレージとして）1 式から成っています。



Federico Garzon (Eyeworks Argentina) :

「近年成長した、とてもクリエイティブな会社であることから、Metus は素晴らしいシステムだと思います。MAM ビジネスにおけるリーダーのひとつになることは間違いないと考えています。どんな予算にもスケラブルに対応できる良い製品を持っているのです。」

仕様 & 特長

- 将来のために古いテープアーカイブをデジタイズ
- インジェスト装置にアナログおよび HD-SDI 入力
- 24 時間、365 日運用
- 自動プロキシ生成
- Metus MAM 搭載のトランスコードエンジン
- 無制限のメタデータ入力、高度な検索機能、プレビューオプション

